

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

波佐見町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長崎県東彼杵郡波佐見町

3 地域再生計画の区域

長崎県東彼杵郡波佐見町の全域

4 地域再生計画の目標

波佐見町は長崎県のほぼ中央、東彼杵郡の北部に位置し、西は佐世保市、南は川棚町、東は佐賀県武雄市、嬉野市に、北は佐賀県有田町に接しています。

400年の伝統をもつ全国屈指の「やきものの町」として栄えてきました。全国の一般家庭で使われている日用食器の約13%は波佐見町で生産されており、町内には陶磁器に関する約400の事業所があり、町内の約2,000人が窯業関係の仕事に携わっています。

波佐見町の人口は、第2次ベビーブームや好調な陶磁器産業の影響により、増加傾向にあったものの、平成2年（1990年）の15,728人をピークに若者の流出や少子化・晩婚化の影響による人口減少が進んでおり、令和2年12月末には14,565人となっています。このまま推移すると、令和7年（2025年）には13,899人、令和47年（2065年）には8,886人程度まで減少するといわれています。なお、この推計値8,886人と、平成27年（2015年）の国勢調査人口（14,891人）を比べると、減少率は40.3%となっています。

年齢3区分別の人口推移をみると、生産年齢人口は昭和60年（1985年）の10,135人をピークに減少に転じています。年少人口は少子化・晩婚化等の影響により減少傾向が続いており、また、老年人口は医学・医療の発達による平均寿命の上昇や団塊の世代の加齢により増加傾向にあることから、平成12年（2000年）に高齢人口（3,123人）が年少人口（2,721人）を上回りました。

今後、平成12年(2000年)に62.2%(9,618人)であった生産年齢の割合は、令和47年(2065年)に50%を切り、65歳以上も40%近くになると推計されています。

自然動態をみると、平成元年(1989年)は、出生192人、死亡100人と、人口の自然増が92人という状況でしたが、少子化や老年人口の増加により、人口の自然増数は減少していき、平成14年(2002年)以降(平成21年を除く)は、人口は自然減の状態となっています。令和元年(2019年)は、出生114人、死亡191人と、77人の自然減となっています。

社会動態をみると、転入者については平成22年(2010年)に、転出者については平成24年(2012年)に、それぞれピークを迎えた後は、減少に転じましたが、近年の転出者は平成24年(2012年)のピークに迫りつつあります。転入者も僅かですが増加傾向にあります。平成27年(2015年)までは、社会増と社会減を繰り返していましたが、平成28年(2016年)以降は社会減が続いている状況となっており、令和元年には転入者454人、転出者563人と▲109人の社会減となっています。

国立社会保障・人口問題研究所によると、令和42年(2060年)に本町の人口は、9,467人になると推計されています。このような人口減少により、地域の経済活動が縮小し、雇用環境が悪化するだけでなく、消費者の減少による各種店舗や地場産業、住宅需要の減少による不動産の経営悪化につながる可能性があります。また、地域活動の縮小による地域コミュニティの希薄化等にもつながります。

これらの課題に対応するため、本計画期間においては、「人を育てる」、「産業の振興を図り安定した雇用を創出する」、「新しい人の流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子育て環境の向上を図る」、「官民一体となって暮らしやすいまちをつくる」の5つの項目を基本目標として掲げ、取組みを進めてまいります。

さらに、これからの波佐見町の産業・まちづくりを担っていく「人」を呼び込み、育てることに重点を置き、これまでの取組みに加え、まちづくりに関連する団体等の育成や、地域の担い手や将来的な移住者の増加につながることを期待される関係人口の拡大などにも取り組んでいきます。

また、陶磁器製造業での後継者確保、定年帰農者や新規就農者等を確保しての農

業後継者育成、交流人口をさらに拡大させることによる観光業の振興、子育て環境の充実と負担軽減による産みやすく育てやすい子育て環境づくりなど、「人」を呼び込み育てることに加え、「人」の定着に必要な産業の振興、雇用の創出や子育て環境整備にも一体で取り組むことで、好循環を生み出すことを目指します。

「継続は力なり」という姿勢を基本にして、本町の目標人口である令和42年(2060年)の人口11,000人程度とする人口の将来展望の達成を目指します。

【数値目標】

5-2 の①に 掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和6年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	団体育成講習会の回数(累計)	0回	16回	基本目標1
	コミュニティ・スクールの設置	0校	4校	
	大学との連携数	1大学	2大学	
	特別授業の開催	1回	1回	
	町に住み続けたい、町を転出して も将来戻ってきたいと思う 割合	0%	80%	
	講演会・鑑賞会の開催	年1回	年1回	
	イングリッシュキャンプの開 催回数	0回	年1回	
	男女共同参画リーダー育成人 数	1人	2人	
イ	空き工場等への企業誘致	0件	1件	基本目標2
	移住後継者の確保	0人	2名	
	波佐見焼の製造品出荷額	約50億円	約50億円	
	廃石膏のリサイクル率	8.4%	100%	
	波佐見高校美術工芸科卒業生	0人	3人	

	の地場産業への就職人数			
	新規青年就農者の確保	0名	年1名	
	駄野地区におけるアスパラガスハウス団地の整備	—	2ha	
	観光客数	103万人	150万人	
	DMO組織による観光消費及び滞在時間増加に向けた取組の実施	—	1件	
	農家民泊等、新たな宿泊施設の開業軒数	0軒	年2軒	
	クラフトツーリズム産業創発による取組	一件	5件	
	新お土産品開発数	2商品	2商品	
	陶芸の館外国人来訪者	1,765人	2,500人	
	インバウンドツアー造成	—	1件	
	周遊ルート・観光コース作成	—	1件	
	新規起業件数（累計）	11件	21件	
ウ	空き家バンク契約成立件数（累計）	8件	24件	基本目標3
	空き家バンク登録件数	6件	年3件	
	空き工房バンク契約成立件数	1件	年3件	
	相談による移住（累計）	23件	43件	
	関係人口の創出・拡大につながる取組み件数	0件	4件	
エ	婚活イベントの開催回数	0回	4回	基本目標4
	婚活イベントの参加人数	24人	40人	
	婚活イベントのフォローアップイベントの開催	0回	2回	
	第2子の保育無料化	—	実施	

	病児保育事業の佐世保市との連携	—	実施	
オ	人づくり・まちづくり事業取り組み団体数（累計）	42 団体	74 団体	基本目標 5
	大学との連携数（再掲）	1 大学	2 大学	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

波佐見町まち・ひと・しごと創生事業

ア 人を育てる事業

イ 産業の振興を図り安定した雇用を創出する事業

ウ 新しい人の流れをつくる事業

エ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子育て環境の向上を図る事業

オ 官民一体となって暮らしやすいまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 人を育てる事業

これからの町を担う人材育成、感性を高めるための教育とイベントの開催等、基幹産業の窯業・農業だけに限らず町内の各種業界の交流を進め、これからの本町を担う人材育成や関係人口の増加に取り組み、町外の人に町に興味を持ってもらうことで、新たな人材確保の土壌作りを行う事業。

【具体的な事業】

・ 学校運営協議会制度の導入

- ・イングリッシュキャンプやリーディング・スキル・テストの実施 等

イ 産業の振興を図り安定した雇用を創出する事業

窯業・観光業の振興のため、波佐見焼の「売れる商品」の開発やデザイン・素材などに新しい技術や感覚を取り入れた商品開発支援、陶磁器製造業者が排出する産業廃棄物（廃石膏）のリサイクル推進、素泊まり宿やゲストハウス、車中泊、キャンプ場などの宿泊施設の進出を行う事業。

【具体的な事業】

- ・産業廃棄物リサイクルの構築
- ・周遊ルート、観光コースの作成 等

ウ 新しい人の流れをつくる事業

空き家対策や移住・定住PRのため、仕事や住まいの情報発信を広報やHPなどを活用した周知を行い、都市圏でのPRを図る事業。

【具体的な事業】

- ・空き家バンク、空き工房バンクの運営
- ・「ながさき移住サポートセンター」と連携した移住相談会 等

エ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、子育て環境の向上を図る事業

男女の出会いの場の提供や子育て環境の充実と負担軽減のため、広域で連携して行う婚活イベントの実施や、子育て世代を対象とした勉強会を行う事業。

【具体的な事業】

- ・婚活イベントの実施
- ・佐世保市と連携した病児保育事業の実施 等

オ 官民一体となって暮らしやすいまちをつくる事業

地域コミュニティが自らの地域コミュニティ活性化又は福祉の向上のために、新たに始める活動に対する支援や、学生の視点や考え、その他

大学がもつ様々な資源を活用し、町の課題解決提案や関係人口増加を図るために大学と連携する事業。

【具体的な事業】

- ・自治会等独自活動に対する活動支援
- ・大学との連携 等

※ なお、詳細は波佐見町まち・ひと・しごと創生・人口ビジョン（令和元年度改訂版）第2期総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

64,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月に開催する外部有識者による効果検証を行い、有効性の観点から検証のうえ、必要な見直しを行います。検証結果は波佐見町ホームページで公表します。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで